

令和6年度 第1回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

〔事務局〕 都市政策課

〔開催日時〕 令和6年7月17日(水) 午後2時00分から午後3時15分まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所3階 全員協議会室

〔出席者〕

(委員) 藤井会長、大島副会長、佐藤委員、森委員、宮原委員、高橋委員、松田委員、滝口委員(代理出席)、窪田委員、福永委員、市川委員、宿谷委員、中津川委員、菊本委員、吉野委員(代理出席)、石井委員
(欠席：小堤委員、金子委員、佐伯委員、森下委員)

(事務局) 吉田都市部長、大園都市政策課長、脇坂都市計画係長、ほか1名

〔公開の可否〕 公開

〔傍聴者〕 0名

《審議の経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委 嘱
- 4 伊勢原市地域公共交通設置規則について
- 5 伊勢原市地域公共交通計画事業計画検討分科会について
- 6 議 事
議案第1号 令和6年度事業計画(案)について
- 7 その他
- 8 閉 会

《議事》

会 長	それでは、次第に従い、議事を進めます。 本日の議題は、 第1号議案 令和6年度事業計画（案）について の1点となっています。 事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様の御意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いします。 それでは、議案第1号 令和6年度事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	【説明】
会 長	ありがとうございました。 令和6年度事業計画（案）について、新規事業・継続事業という形で事業計画の説明をいただきました。利用促進リーフレット「公共交通の極」の更新等の継続した利用促進活動や、新規事業として、サイクルアンドバスライド等の取組について、事務局から説明がありました。 委員の皆様から、御質問、御意見等ありましたらお願いします。
委 員	三浦市でライドシェアの実証実験を12月まで行う予定で、現在、事業内容について調整を行っています。 事業内容がまとめ次第、情報を共有しますが、現時点で質問等があれば、交通政策課までご連絡ください。
事 務 局	ライドシェアについて、具体的な検討は行っていないですが、今後、運転士不足が進展していく中での対応策の1つとして参考にしていきたいと思えます。
会 長	ライドシェアの制度が固まっていない中で、日本版ライドシェアが動き出していますが、タクシー事業と連携して取り組める制度になるのかどうか重要になってきます。 千葉県南部の南房総市等の8つの市と町をエリアする「南房交通圏」でライドシェアの取組が検されましたが、法制度が固まっていない中で取り組むことへの不安等から導入が見送られ、現状を維持していくための検討が進められることになりました。 新しいモビリティサービスの導入については、伊勢原市の公共交通空白地区等における地域性や地域ニーズとマッチングする事業を慎重に検討

	していく必要があると思います。
委 員	自治会連合会では、「バスの本数が少ない」や「病院帰りのタクシーがない」等の意見が出ています。２０２４年問題等の厳しい現状については承知しているところですが、市としてどのような取組を考えていますか。
事 務 局	運転士不足を背景に、５月２０日付けで市全域でのバス路線の減便を中心としたダイヤ改正が実施されました。市では公共交通空白地区等の移動困難者への対応を進めていく必要があると認識しているため、それぞれの地区における現状や移動ニーズを把握し、地域特性に応じた移動のあり方の検討を進めていきたいと考えています。
委 員	市民の中では、外出したいときに移動手段がないため外出できず、生活する上で大変困っている現状があります。高齢化も進んでいるため、免許返納者数も増えてくると思いますが、公共交通の本数が少ない状況で、高齢者の移動は難しく、核家族化も進んでいるため、家族のサポートも受けられない人が多くいます。１年や２年でどうこうできるものではないと思いますが、少しでもいい方向に進んでいけるようにしてほしいと思います。
会 長	この問題は、伊勢原だけではなく全国的なものです。 千葉県内では、運転士不足を背景に鉄道が運休することや、市原市では、昨年に路線バスが１００本運休、３月に同等の運休が行われ、日中及び夕方時間帯の運休・減便を行わなければ、現法律に適応した運行体制を取れない状況にあります。その中で、運転士確保に向けて行政としてできることとして、ハローワークと連携して運転士になった方を支援する取組や、公共交通を身近に感じてもらい運転士業務に関心を持ってもらう下地を作っていくこと等が行われていますが、決め手に欠け、どの自治体でも悩んでいる状況です。 静岡県では、将来のバス利用を促進するための取組として、今年の１２月７日から８日までの２日間限定で「小学生バス無料デー」が実施されます。この取組では、子どもたちのバス利用に合わせて保護者のバス利用も想定されるとともに、移動目的の提案により、子どもたちに、「バス路線を使ってこんなことができる」を知ってもらう機会にすることで、県内全域における公共交通の利用の底上げが図られるものとなっています。 また、２０２４年問題では、運転士不足ばかりが注目されていますが、運転士の労働環境の改善が図られていることを広く周知されると、状況も少し変わってくるかも知れません。

委 員	広報いせはらを活用した利用促進について、配布部数 38,700 部となっていますが、市内の全世帯数はどのくらいですか。また、デジタルでの配布はありますか。 また、運転士業務を掲載して利用促進を図るとはどういうことですか。
事 務 局	市内の全世帯数は、令和 6 年 7 月 1 日時点で、47,597 世帯となっており、新聞折り込みや、駅窓口、公民館等に加えて、新聞を取っていない人でも登録することで配布を行っています。また、デジタルでの配布については、ホームページに掲載しています。 掲載内容は、公共交通の利用促進を中心に、2024 年問題による運転士不足を切り口として、運転業務やのやりがい等の運転士へのインタビュー記事や免許取得支援制度等を掲載することで、運転業務に興味を持つきっかけづくりとなる内容としています。
委 員	5 月 20 日付けでダイヤ改正を実施しましたが、運転士不足は解消されておらず、改正働き方改革関連法をかりうじて守れている状況であるため、今後も減便等による対応の必要性が生じる可能性があるものと考えています。また、昨年度に運賃改定を行い運転士の待遇改善に努め、新卒者を対象に運転免許や二種免許の取得の支援を実施していますが、採用者よりも退職者の方が多い状況です。 今のバス路線を、今の体勢で維持していくことは難しく、今後は地域に合った交通モードの検討を自治体と協力して取り組みたいと考えています。
会 長	非常に難しい状況の中、事業に取り組んでいるとのことでした。バス事業とは、「生活交通」と「観光」の 2 つの側面があり、特に「観光」については、季節によって需要変動があります。伊勢原市では大山という観光資源があり、観光需要によるバス利用の期待値が高いため、「生活交通」と「観光」のバランスを考えながら、分科会等において情報共有や検討が進められると良いと思います。
委 員	バスの本数やタクシーの台数が減少しており、利用者が並んでいる状況を見受けられます。特に、総合運動公園等で学生のスポーツ大会があると、学生がバスに乗りきれずに困っていることがありました。そのため、イベント等がある場合には、交通事業者と事前に情報共有を行い、イベントの日だけ増員や増便等の対応ができると良いと思います。 協議・検討を進めていくに当たっては、例えば、神奈川県下で「おでかけウォッチャー」という人流を調査・集計を行うスマホアプリがあるため、

		そのデータを分析することで、季節ごとの移動需要を把握することもできるのではないかと思います。 また、大山行のバス乗り場が産業能率大学行と同じ乗り場であるため、学生が多く待っている場合、外国人観光客が乗り場や乗り方がわからずに困っていることがあります。例えば、バス停にQRコードを設置して、外国人向けの案内を掲載すること等ができないでしょうか。
会	長	提案頂いた内容については、次の取組に繋がっていけるよう、交通事業者と共有し、検討を深めていくことが重要です。また、観光の面ではインバウンドが重要になっているため、ビッグデータを用いた調査・検討を行っている自治体も多くあります。自治体としてどのような取組が実施できるか、交通事業者と協力して検討を進めていってほしいと思います。
委	員	タクシーの現状として、日中の稼働台数を増やしています。しかし、日によって状況が全く異なるため、運行車両の過不足を予想することは難しいのが現状です。そのため、利用者が並んでいる状況を確認できた場合には、直ちにタクシーの配車を行うように配慮しています。 タクシー運転士については、トラックドライバーからの転職が多く、採用者が退職者よりも若干多くなっています。現在の車両保有台数の53台に対して、さらに運転士数を増やしていくことが可能であるため運転士確保を進めていきます。
会	長	22の公共交通協議会に携わっていますが、初めてタクシー運転士が確保できているという話を受けました。
事 務 局		利用促進リーフレット「公共交通の極」では、タクシー配車アプリの情報を掲載しています。 伊勢原市内におけるアプリの利用状況はいかがでしょうか。
委	員	アプリの利用状況は把握できていませんが、広く浸透しているのではないかと思います。
会	長	その他、御意見等ありますか。特になしということによろしいでしょうか。 事務局は頂いた意見をもとに、事業を進めること、検討を進めることをお願いします。今年度の事業計画について、本日の案のとおり進めることで、皆様よろしいかどうか。 では、進行を事務局へお返ししたいと思います。皆様の御協力で議事進

	行を円滑に進めることができました。ありがとうございました。
閉	会